

交通体系に関する検討等の状況について

平成28年8月31日
嘉麻市 庁舎・交通体系対策室

【内容】

- 1 嘉麻市交通体系庁内検討委員会の開催状況等
- 2 嘉麻市交通体系庁内検討委員会担当者会議の開催状況等
- 3 今後、検討すべき事項として予定している方針（案）
- 4 嘉麻市地域公共交通網形成計画及び今後のスケジュール

1 嘉麻市交通体系庁内検討委員会の開催状況等

○交通体系庁内検討委員会の全体イメージ

嘉麻市交通体系庁内検討委員会(平成27年2月16日設置)

[構成員:平成28年7月1日現在]

- ◇委員長 副市長 白石二郎 ◇副委員長 総務財政及び市民環境担当総合調整監 秋吉俊輔
- ◇本部員
 - ・産業建設担当総合調整監 福田正幸
 - ・福祉事務所長 山田昌郎 ・総務課長 伊藤節 ・企画財政課長 大村輝生 ・企画財政課参事 西野由美
 - ・社会福祉課長 坂本高行 ・産業振興課長 篠崎慶太 ・学校教育課 柴田きよみ
- ◇事務局(庁舎・交通体系対策室)
 - ・室長 小林純一 ・室長補佐 橋垣康秀 ・係長 柴田英樹 ・係 塚本明弘
- ◇所掌
 - ・市バスの今後の運行路線等に関すること。
 - ・福祉バスの市バス統合に関すること。
 - ・スクールバスの有効活用に関すること。
 - ・その他交通体系に関すること

具体的事項に関する
調査検討指示



検討結果報告

交通体系庁内検討委員会担当者会議

- 組織
総務課、企画財政課、社会福祉課、産業振興課、学校教育課におけるバス関連事務担当係長及び担当職員
【会長】企画財政課課長補佐兼企画調整係長 【副会長】総務課総務係長
- 目的、所掌
公共交通体系の見直しに伴う、円滑な交通体系の運用を実施することを目的として、計画段階より事業実施担当者等による具体的な公共交通見直しプラン原案を作成し、嘉麻市交通体系庁内検討委員会に提案することを本会議の設置目的及び事務所掌とする。

1 嘉麻市交通体系庁内検討委員会の開催状況等

嘉麻市交通体系庁内検討委員会

【設置目的】

嘉麻市が運行するバスの交通体系について庁内各課等の円滑な連絡調整を図り、嘉麻市のまちづくり・財政効率・住民の福祉の向上が期待される交通体系の整備の促進を図るために、次に掲げる事項に関する「総合的な方向性」及び「事業スケジュール」について総合的な検討を行う。

【所掌内容】

- ・市バスの今後の運行路線等に関すること。
- ・福祉バスの市バス統合に関すること。
- ・スクールバスの有効活用に関すること。
- ・その他交通体系に関すること

所 属	氏 名	備 考
副市長	白石 二郎	委員長
総務財政及び市民環境担当 総合調整監	秋吉 俊輔	副委員長
産業建設担当総合調整監	福田 正幸	
福祉事務所長	山田 昌郎	
総務課長	伊藤 節	
企画財政課長	大村 輝生	
企画財政課参事	西野 由美	
社会福祉課長	坂本 高行	
産業振興課長	篠崎 慶太	
学校教育課長	柴田 きよみ	

1 嘉麻市交通体系庁内検討委員会の開催状況等

【会議開催実績】

第1回 平成27年2月16日

- ・嘉麻市交通体系庁内検討委員会の設置
- ・交通対策に関するまとめ資料(検討経緯等)に関する協議
- ・各課の見解、考え方に関する協議

第2回 平成27年5月25日

- ・交通対策に関するまとめ資料(検討経緯等)
- ・各課提出資料の説明、意見交換
- ・スケジュール等に関する協議

第3回 平成27年11月13日

- ・交通対策に関する方向性に関する協議
- ・スケジュール等に関する協議

第4回 平成27年11月26日

- ・交通体系に関する検討等の状況に関する協議
- ・新年度予算等に関し必要な事項等に関する協議

第5回 平成28年1月20日

- ・交通体系見直しに係る整備の方向性及び課題等に関する協議

第6回 平成28年2月10日

- ・3月議会提出資料に関する協議
(予算特別委員会用)

第7回 平成28年5月13日

- ・交通体系見直しに係る年間計画に関する協議
- ・交通体系庁内検討委員会担当者会議の設置に関する協議
- ・平成28年6月議会報告に関する協議

第8回 平成28年7月27日

- ・交通体系庁内検討委員会担当者会議の中間報告に関する協議

第9回 平成28年8月23日

- ・平成28年9月議会報告に関する協議

2 嘉麻市交通体系庁内検討委員会担当者会議の開催状況等

嘉麻市交通体系庁内検討委員会担当者会議

【設置目的】

嘉麻市公共交通体系の見直しに伴う、円滑な交通体系の運用を実施することを目的として、計画段階より事業実施課担当者による詳細な見直し内容等に関する課題・問題点等を整理し、実施可能性の調査等検討を行う。

【所掌内容】

- ・市バスの運行に関する全般的な内容検討
- ・市バスの市民意向調査における市民満足度の向上
- ・持続可能な公共交通における財政面からの視点
- ・福祉バスと市バスの今後のあり方
- ・商業（スーパー等）、観光を考慮した市バス運行路線の検討
- ・スクールバスの混乗

【会議開催実績】

第1回 平成28年5月30日

- ・現状と問題点の整理、方向性の確認等に関する協議

第2回 平成28年6月10日

- ・現状と問題点の整理（追加、修正）、方向性（案）等に関する協議

第3回 平成28年6月24日

- ・課題、方向性（案）の協議等に関する協議

第4回 平成28年7月 8日

- ・方向性（案）等に関する協議

第5回 平成28年7月21日

- ・方向性（案）等に関する協議

第6回 平成28年8月12日

- ・各項目別方向性（案）、全体イメージ等に関する協議

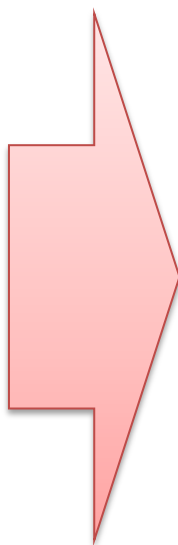
第7回 平成28年8月26日

- ・方向性（案）等に関するとりまとめ

所 属	役 職	氏 名	備 考
企画財政課	課長補佐 兼企画調整係長	赤 坂 晋	会長
総務課	総務係長	貞金 健一	副会長
総務課	総務係	和智 康考	
企画財政課	課長補佐 兼財政係長	廣谷 友紀	
企画財政課	行政改革推進係長	田中ひふみ	
企画財政課	企画調整係	平塚 賀一	
社会福祉課	社会福祉係	伊藤 一将	
産業振興課	商工係長	中島 栄治	
産業振興課	観光PR係	小谷 達也	
学校教育課	管理係長	松隈 康典	
学校教育課	教務係	笹尾 典弘	

3 今後検討すべき事項として予定している方針（案）

今後、検討すべき事項として予定している方針（案）



5つの方針（案）

方針1. 利便性の高い交通環境の構築

- 牛隈地区（元大隈駅）にバスセンターを設置する
 - ・バス待合所（ICカードのチャージ等）
 - ・バス停留所（市バス、西鉄バスのどちらの車両も停車するバス停留所）
- 各庁舎付近に交通結節点を設置
 - ・乗継拠点として待合環境の整備
 - ・複数車両が停車可能なバスレーンの整備
- 乗継しやすいダイヤを構築
 - ・市バス同士や市バスと西鉄バスとの乗継のしやすいダイヤを構築する。
- 交通空白地の解消
 - ・桂川駅便の見直し、構築

方針2. 安全性が高く、利用しやすい交通体系の実現

- 主要な幹線となり得る路線（市外への路線）は、民間による運行とする
 - ・主要な幹線（市外への路線）は、更なる安全性、利便性の向上のため、民間による運行とする
 - ・市が運行するバスは、幹線を補完する路線とする
 - ・市外への路線の便数は現状便以上（市の補助制度導入）
 - ・官民間わず乗継等、公共交通の利便性向上となる情報提供

方針3. わかりやすく、効率的な公共交通体系の確立

- 福祉バスを廃止。市バスに統一する
 - ・効率的・効果的な運行を可能とする運行計画の策定
 - ・乗り継ぎ割引、高齢者割引の適用（市バス車両にICカードを設置）

※高齢者、障がい者の利用の条件内容の明記

方針4. 必要な公共交通サービスの確保









- 地域の特性や需要に応じた最適なサービスとして、デマンド型運行を導入する。
 - ・一定地域におけるデマンドタクシーの導入
- ※利用者が少ない区域・集落における一部区間のデマンドタクシー等の実証運行の実施

方針5. 必要な交通手段の確保及び利用促進

- 通勤、通学手段の確保(通勤、通学サポート)
 - ・現状の西鉄バス通学定期券の一部補助
 - ・新規路線を構築し、通学定期券の一部補助
 - ・近隣の高等学校への通学手段の確保
 - ・福岡市内への直行便等を含む通勤、通学手段の確保
- 地元商店等での買い物と合わせた利用促進
 - ・地元商店等での買い物した際回数券等の交付による利用促進
- 一目で分かり、明るい市バスとして、バスにラッピングや車内広告等を行う
 - ・車内広告等による明るい雰囲気づくりと収入の確保
 - ・ラッピングバス等による、わかりやすく、明るい市バスとする
- 観光地（道の駅等）や観光名所への交通手段の確保
 - ・最寄り駅から観光地（道の駅等）や観光名所への交通手段の確保

4 嘉麻市地域公共交通網形成計画及び今後のスケジュール

今後のスケジュールを以下のとおり整理する。また、中・長期、利用促進戦略に位置づける各事業の実施については、課題・問題点の整理及び実施可能性の調査を行い、運行の実現性が見通しが立った場合、具体的な運行計画の協議、例規整備、予算の確保を行う。

検討項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
【構想】 ・地域公共交通網形成計画策定 ※詳細スケジュールは次頁					
【利用促進戦略】 ・通学助成制度の導入					
【短期戦略】 ・既存事業における軽微な変更					
【中期戦略】 ・桂川駅便の見直し ・各高校及び福岡市内への直行便構築					
【長期戦略】 ・循環バス路線の構築及び交通体系の総合的な見直し ・福祉バス事業の廃止 ・ICカードシステムの導入 ・高齢者助成制度の導入	